

指導と評価の年間計画（２００８・Ｈ２０年度）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
国語	国語読解	３	３	スーパーパーフェクト演習、ＬＴ現代文ＬＴ３、新聞記事等

到達目標	読書を通じて人生を考え社会を知ろうとすることが少なくなっている生徒に文学、評論、時事問題を読む機会を与えて思考を深め、自身の意見が持てるための力を養成する。さらにはさまざまなジャンルの作品を読むことを契機にして、文章を書く力をつけさせる。
到達目標に向けての具体的な取り組み【指導上の】留意点	生徒の主体的な取り組みを大切にする。さまざまなジャンルの作品を読み解くことによって、読書力の構築とともに書く力、読解力、分析力をつけさせる。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
４月 ～ ７月	いろいろな文章を読む習慣を習得させる １、原稿用紙の使い方を習得させる。 ２、文学、評論、時事問題を読み解かせる。	さまざまなジャンルの作品を通じて生徒に今の社会状況、経済問題福祉関係など問題意識を持たせる。さらに、多くの作品を読むことによって、「読書力」を涵養する。 １、原稿用紙の使い方を指導する。志望動機を書かせる。 ２、問題集と、自主教材によって、読み書きすることへの興味関心を喚起する。	１、提出状況 ２、客観テスト	１、提出状況 ２、自分の意見を述べているか、問題集については正解点数化し、学期に１回期末考査時に試験する。提出物等の評価を２割、考査の評価を８割とする。
８月	読書感想文（課題図書）は自由題とする。		提出	提出状況、分量、自分の意見が述べられているか。
９月 ～ １２月	１、いろいろな文章を読む習慣を習得させつつ、環境問題、人種差別等、社会問題を扱ったエッセイ等を読ませる。 ２、原稿用紙に段落構成（起承転結など）を意識して書かせる。 ３、長文の読解力をつけさせる。	１、多様な文章を通じて生徒に今の社会状況、経済問題福祉関係など問題意識を持たせる。その文章等に対する自分の意見をまとめて書かせる。 ２、課題文を読ませ、要約させ、自分の意見を書かせる。ディベート形式の指導も行う。 ３、長文の読解力を深めさせる。	１、提出状況 ２、客観テスト	１、提出状況 ２、要約が著書の意見を扱っているか、生徒が自分の意見を述べているか段落構成ができているかを評価する。 ４、問題集については正解の率を点数化する。学期に１回期末考査時に試験する。提出物等の評価を２割、考査の評価を８割とする。
１月 ～ ３月	１、さまざまなジャンルの作品を読む習慣がついているかを確認させ、社会問題等を理解させる。 ２、原稿用紙に段落構成をはっきり意識させ、自分の意見を書かせる。	１、文学、評論、時事問題について、自分なりに考えさせ、意見を書かせる。 ２、問題集では、読解力の深化をはかる。 ３、１年間の学習の成果を、自分なりにまとめて、書かせる。	１、提出状況 ２、客観テスト	１、提出状況 ２、生徒が自分の意見を客観的に述べているか。問題集については正解率も点数化する。提出物等平常点を２割、考査の点を８割とする。